

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 野うさぎ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切な配置をしたうえで状況やその日の利用人数に合わせて人員配置で支援を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		厚生労働省により定められた適切な人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	施設内に階段があるために、完全なバリアフリー化はできていません。スタッフの配置、情報伝達、声掛けにより安全に配慮して支援しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		支援後は、室内と遊具の清掃及びアルコール消毒を徹底して行っています。子どもたちの活動は、宿題などの学習スペースと身体を動かす運動スペースを使い分けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルを心がけ、毎日のミーティングや週1回の会議にて業務改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回のアンケートを基に取り組んでいます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所として自己評価を行い、事業所のホームページにて公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後は第三者の立場にある方から、客観的に評価してもらえる体制を創る予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修への参加や内部研修を実施することで、支援の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングや個人懇談を実施し、丁寧な聞き取りを基に児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの特性に合わせたツールを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、子どもの支援に必要な項目について、具体的な支援内容を設定し、保護者の皆様にお伝えしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援を心がけています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎週の会議にて意見を出し合いチームとして立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の様子や状態などを考慮しながら工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		職員間で現在の子どもの様子を情報共有し、必要な提供活動を組み合わせる計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時リーダーが主となり、職員間でその日の支援内容や送迎の確認をしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時、その日の子どもの様子や状態、支援を振り返る等情報を共有し、ケース記録に記入しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の出来事はその日の内にケース記録に残し、週1回ケース会議にて今後の改善につなげています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを行い、見直しの必要性を判断し、確認しています。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と児童担当者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携して支援を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医療的ケアが必要なお子様はいませんが、今後必要に応じて対応していきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要なお子様はいませんが、今後必要に応じて対応していきます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		通所されている保育園と連携を取りながら、情報共有と相互理解に努めています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	小学校や特別支援学校(小学部)と連携を取りながら、情報共有と相互理解に努めています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所より個別で研修に申し込む等、スキルアップにつなげています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		インフルエンザ・コロナウイルス等感染防止の観点から、今年度も交流を見合わせるに至りました。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から連絡帳や送迎時に伝え合ったり必要に応じて電話連絡や個人懇談の設定、実施により共通理解しています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングには至りませんが、話す機会を多く設け日常の子育てでの悩み事を聴き親子が良好な関係であるように支援しています。		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明をさせていただいております。		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画を示しながら個人懇談等で保護者様と支援内容を共有させていただき、同意をいただいております。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個人懇談等お話しする機会を多く設け、日常の子育てでの悩み事を聴き、親子が良好な関係であるように支援しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会にて保護者様同士の意見交換をして頂きました。今後も開催予定です。日程が決まりましたら、お知らせいたします。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		随時相談等がございましたら迅速に対応させていただきます。なお、苦情に関しては第三者機関の連絡先を重要事項説明書に記載させて頂いております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回野うさぎ通信を発行し、事業所での様子や伝達事項、次月の予定等を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		従業員に守秘義務に関する誓約書に署名をもらっています。また日頃の会話にも注意を払うことを今後も徹底してまいります。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや必要な手段を用いて意志の疎通を図ると共に、お子様の成長過程において今までと違う言動などは特に注視し、直接保護者様と共有しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		インフルエンザ・コロナウイルス等感染防止の観点から、今年度は実施できませんでした。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には研修時にも取り入れながら周知すると共に、保護者様にはその都度お便りにてお知らせしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		お子様と一緒に避難場所の確認の為に外出や、定期的な避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		保護者様から投薬書や指示書のコピーをいただき、子どもの状況を確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様から投薬書や指示書のコピーをいただき、子どもの状況を確認しています。対応が必要な児童が通所された場合は速やかに連携しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を取り情報共有できるようにファイリングし、事故につながるよう定期的に振り返りを行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修も含め、内部研修も行っていきます。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		現在、身体拘束が必要な児童は通所されていませんが、必要な場合には対応していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。